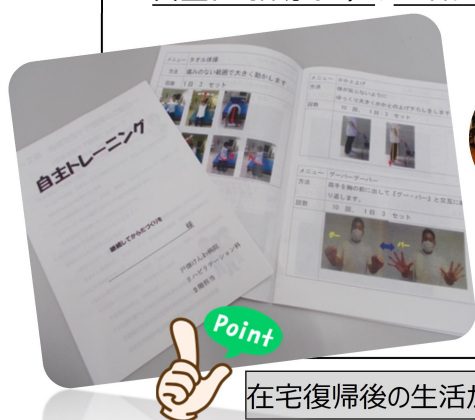


事業所紹介 第3弾 戸畑けんわ病院★

【地域包括ケア病棟 自主トレ指導の取り組み】

地域包括ケア病棟は、急性期での治療を終えた後、在宅や施設への復帰・入所に向けての準備を整えるための病棟です。60日の入院期間があるため、「早期機能回復のためのリハビリ提供」はもちろんですが、在宅復帰後の生活の維持のための「自助力の向上・維持」も求められます。

患者さんの状態に合わせて、個別リハビリ（機能回復中心）、予防リハビリ（機器を使用したリハビリ、自主トレ指導など）、生活リハビリ（集団体操や離床、日常生活支援など）を日々提供しています。



今年度は、自主トレーニングの冊子を作成し、入院患者さんに配付しています。内容は、日々病棟で提供している体操が中心になっており、新たにメニューを指導したり、覚えていただく必要がありません。

入院中のリハビリが退院後もご自分で継続しやすいように工夫しています

在宅復帰後の生活がより長く続くように・・・

【回復期病棟 多職種連携 糖尿病ラウンドの取り組み】

今年度より、多職種で構成された糖尿病チームがラウンドを開始し、リハ職種も専門性を活かした情報提供を行っています。

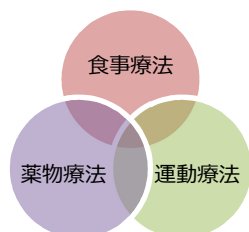
糖尿病で血糖調整が必要で、

定期的に血糖測定を行っている入院患者様を対象に

高齢者糖尿病診療ガイドラインに基づいた糖尿病管理が普及し、

患者様の社会復帰、家庭復帰に向けたチーム医療の充実を図るため、

糖尿病担当医師、糖尿病認定看護師、管理栄養士、病棟看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士・作業療法士が関わっています。



DM 治療の三本柱は①食事療法、薬物療法、運動療法です。

特に回復期病棟では、患者様の活動内容や運動量が日々変化していきます。

その変化に食事内容や薬物の処方量、運動量も対応できるように多職種で情報共有を行っています。

リハビリは、主に身体機能（筋力・耐久性）ADLレベル、運動内容について情報提供しています。

また、多職種からの情報をもとに、筋力、耐久性向上トレーニングの負荷量の調整、

在宅でのトレーニングや生活指導を実施しています。